

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0316
施設名	かすみ台第一保育園
施設所在地	東京都青梅市大門2-253
法人名	社会福祉法人かすみ福祉会

1.活動のテーマ

〈テーマ〉

光（4歳児クラス）

〈テーマの設定理由〉

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

雨上がりの園庭で、あじさいに付いていた水滴がきらきらしている姿に興味を示していた。そのことから「光」に注目した活動をすることとした。

2.活動スケジュール

R6,8～ 光についてどんな活動が出来るかを考えた。
ライトテーブルを用いて葉の葉脈や透明な玩具の色を見て楽しむこととした。
購入したもの（ライトテーブル・透明な玩具）の設置場所などを決める。
子どもたちの反応を見ながら、玩具を増やしたり図鑑などを設置していった。

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

ライトテーブル、LEDテープライト、透明なおはじき、マグフォーマー、カラーセロファン、色鉛筆、画用紙、図鑑

4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・ライトテーブルに透明なおはじきを並べ、模様を描く。
- ・まんだら塗り絵のようだとの声からまんだら塗り絵の柄を増やす。
- ・透明なおはじきを重ねると色が変わることを知る。カラーセロファンも用意したが、他の玩具で盛り上がっていた為、使用しなかった。
- ・窓に貼り付けると太陽の光で部屋の壁や床に色が出ることを楽しむ。
- ・きらきら光る物から連想する星に興味を持ち図鑑を見る。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り〉

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

雨粒のキラキラ光る姿から、他にもキラキラしたものがあるか探し始めた。部屋の玩具で元々置いてあった透明な玩具を日の光に照らしていたことからライトテーブルの購入を考えた。設置をするとすぐに興味を持ち取り組んでいた。透明なおはじきも一緒に用意するとライトテーブルに綺麗に並べて模様を作ることを楽しんでいた。その並べた模様から「まんだら塗り絵みたい！」との声があったので、まんだら塗り絵の柄を増やしていった。色の塗り方や色の並べ方が変わっていった。自分たちで窓枠に並べた玩具の色が太陽の光で部屋の壁や床に映るととても喜んでいた。また、玩具同士を重ねると違う色になることがわかり、様々な色を試し気付きを保育士に伝え共感していった。夕方、窓の外に光る星を見て「キラキラだね」との声だったので、図鑑を置き、より興味が深まるようにしていった。



5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

普段、何気ない日常生活の中から雨粒のキラキラしている姿に興味を持った子どもたちの姿がとても可愛らしかった。「光」を通して色を知り、色と色の重なりで違う色が出来ることにも気付けた。「光」からまんだら塗り絵や星にまで繋がる子どもたちの興味・関心に保育士も驚かされた。子どもたちからの声を聞き逃さずに興味が深められるよう環境を整えていくことも楽しく感じられた。